

【（公財）東京しごと財団】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

求職者・企業の双方のニーズを把握し、現場での支援から施策の企画立案まで幅広く対応した雇用就業分野のプロフェッショナル組織

重要課題 ①

ダイバーシティの実現や、都民のライフ・ワーク・バランスの向上が求められる中、区市町村の就業支援機関や企業を顧客とする経済団体等とのネットワークをいかに構築し、総合支援機関として雇用就業施策を展開していくか

検討の状況や今後の方向性

- 雇用就業を取り巻く環境が日々変化する中、しごと財団がプロフェッショナル組織として実効性ある雇用就業施策を展開していくためには、職員一人ひとりの能力向上により組織の専門性を高めることに加え、関係する機関との連携を深めることが必要となる。
- しごと財団では、これまで事業実施にかかる基礎的知識や広報力の向上に努めてきたが、今後は、平成31年3月に策定した研修プラン(基本方針)に基づき、①キャリアコンサルタント資格取得等、雇用就業に関する高いスキルの獲得、②社会情勢の変化や新たな課題に対する施策を迅速に提案・実施することのできる能力の伸張、に力を入れていく。
- 同時に、都施策を最前線で実施する中で、現場の声を集めながら支援ノウハウ・経験を更に蓄積・活用しつつ、他の就業支援機関や、企業との橋渡しとなる経済団体・金融機関等との一層の連携により、事業周知や、意見交換、共同事業を積極的に実施して、求職者と企業双方の立場に立った総合支援機関としての機能を高めていく。

【（公財）東京しごと財団】の課題と今後の方向性

重要課題 ②	企業の人手不足の深刻化と求職者のニーズに応える、シニア・女性の活用
検討の状況や今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 都内の有効求人倍率が高い水準を維持し続け、企業の人手不足が深刻化している中で、経済を支える労働力を確保するためには、シニア・女性を積極的に活用し、求職者の希望に配慮しながら企業とのマッチングを高める必要がある。○ 現在、しごと財団では、シニア層を対象とした職場体験事業や、人手不足業界への就職につなげる知識・技能習得プログラムを実施。また、子育て中の女性の再就職にむけたセミナー、職場体験等、多様なメニューによる支援を実施している。○ 今後は、区市町村等と連携・協力して、シニアや女性が参加しやすい地域でのセミナー等を積極的に実施し、多くの参加と再就職への意欲の向上を図っていく。○ 加えて、地元での就業希望が多いことに鑑み、地域における求人開拓を進め、合同就職面接会等を実施し、シニアや女性のニーズに応えるマッチングに一層努め、就業者の増加に取り組んでいく。